

## 平成29年2月定例会 公社事業対策特別委員会の概要

日時 平成29年 3月 8日(水) 開会 午前10時 1分  
閉会 午前11時28分

場所 第9委員会室

出席委員 田村琢実委員長  
日下部伸三副委員長  
浅井明委員、細田善則委員、神尾高善委員、荒川岩雄委員、小島信昭委員、  
高木真理委員、田並尚明委員、安藤友貴委員、菅原文仁委員、金子正江委員  
金子勝委員

欠席委員 なし

説明者 [企画財政部]  
萩原由浩改革政策局長、吉野繁雄改革推進課副課長  
[県民生活部]  
稲葉尚子県民生活部長、中川典之県民生活部副部長、  
影沢政司共助社会づくり課長、坂田恭子文化振興課副課長、  
[福祉部]  
知久清志福祉部副部長、高橋利維社会福祉課副課長、  
坂庭進こども安全課副課長  
[公益財団法人いきいき埼玉]  
茂木皇治理事長、向佐光治業務執行理事兼事務局長、柳川貴規管理部長、  
関谷正博事業部長、岡野功いきがい大学支援部長兼高齢者就業促進部長  
[公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団]  
竹内文則理事長、木全義男専務理事兼事務局長、  
石川護業務執行理事兼総務部長、渡辺弘業務執行理事兼事業部長  
[社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団]  
藤原道彦副理事長兼あさか向陽園長、岸田正寿本部事務局長、  
関口修宏嵐山郷事務局長、小野寺修三上里学園長、川田民夫そうか光生園長、  
武田一彦障害者交流センター所長

### 会議に付した事件

公社における改革の取組について  
公益財団法人いきいき埼玉  
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団

**細田委員**

- 1 一部の障害者歯科診療所では予約が取れないことがあると聞いているが、混雑の現状について教えてほしい。
- 2 障害者歯科診療所の収益を、設備の整備等に投資する考えはないか。

**(福) 埼玉県社会福祉事業団本部事務局長**

- 1 障害者歯科診療所では、初診までに1か月程度要することもあるが、緊急の診療は優先させている。
- 2 収益は、治療器具の更新等に充てている。

**安藤委員**

- 1 埼玉県芸術文化振興財団について、平成27年度決算で1億300万円の赤字となっているが、その要因や今後の対応について詳しい説明を求める。
- 2 経営指標となっている公演満足度及び施設利用満足度の実績について、調査のサンプル数はどれくらいか。また、調査方法はどのようなものか。
- 3 埼玉県社会福祉事業団について、児童養護施設を退所した後の児童に対し、どのような支援を行っているのか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

- 1 三つの大きな要因で大幅な赤字の計上を余儀なくされ、重く責任を受け止めている。第一の要因は、収益の柱である彩の国シェイクスピア・シリーズの上演作品が「ヴェローナの二紳士」という知名度の低い作品で、ほかの公演が目白押しの時期でもあったことから、チケット販売率が71%程度にとどまったことがある。第二には、県指定管理料収入の減少に加え、熊谷会館の閉館及び埼玉会館の休館により、貸館の収益を上げることができなかったという事情がある。第三には、蜷川芸術監督の体調不良で、急きょ公演を中止せざるを得なかったことによるコストの増加や代替公演の不調がある。平成28年度も蜷川芸術監督の影響は大きく、稽古場の変更等によるコストの増加や、予定していた2本の公演が中止となるなど厳しい状況である。そのような中、シェイクスピア・シリーズ第32弾「尺には尺を」は遺作として上演でき、収益のリカバリーが見込める。また、吉田鋼太郎氏が彩の国シェイクスピア・シリーズ芸術監督に就任し、平成29年度以降、残る5作品をしっかりと上演していく予定である。
- 2 施設利用満足度については、ホール利用者等から300件から400件程度の回答を得ている。大変満足、おおむね満足との回答を満足しているものとして捉えており、劇場だけでなく事務対応についても高い評価を頂いている。公演満足度については、2,000件程度の回答を得ている。

**(福) 埼玉県社会福祉事業団本部事務局長**

- 3 困ったときなどに連絡できるよう、退所時にアフターケアカードを渡している。連絡のない児童に対しては、自宅や職場への訪問などによる状況確認を、退所後1年目は年3回、2年目は年2回、3年目から5年目までは年1回行っている。平成27年度は延べ3,559件の支援を行った。

## 安藤委員

児童養護施設を退所した児童の支援について、一般的に、就職して3年程度で辞めてしまうことが多いが、退所後の状況確認は3年で終わってしまうのか。

### (福) 埼玉県社会福祉事業団本部事務局長

退所後、3年目以降も5年目までは年1回、定期的に退所後の状況確認を行っている。

## 委員長

各委員及び執行部においては、質疑・答弁について簡潔・明瞭に願います。

## 高木委員

- 1 いきいき埼玉が実施している労働者派遣事業について、各市町村のシルバー人材センターとの関係はどうなっているのか。
- 2 いきいき埼玉の委託業務全般で委託料が年々増加している理由は何か。特に、食堂等業務について委託料が大幅に増えているがなぜか。
- 3 蜷川芸術監督が逝去し、その影響が心配である。吉田鋼太郎氏が彩の国シェイクスピア・シリーズ芸術監督に就任したとはいえ、残る5作品の知名度が高くないとのことで、彩の国シェイクスピア・シリーズの今後を心配している。芸術性が高いと、興味のある人は行くが一般の人は余り行かない。蜷川芸術監督はその点一般の人も集客できたが、逝去により今後、集客をどのように確保するのか。

### (公財) いきいき埼玉理事長

- 1 いきいき埼玉が埼玉県のシルバー人材センター連合の本部となっている。労働者派遣事業については、連合と企業との契約に基づいて実施されており、各市町村のシルバー人材センターは連合の支部のような役割で実際の業務を行っていただいている。
- 2 委託料上昇の主な理由は、全般的に、人件費が上昇していることである。また、食堂業務については、食堂の売上げの全てを財団の事業収入として受け入れ、その95%を委託料として受託業者に支払っており、売上げが増えると委託料も増加することによる。

### (公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長

- 3 蜷川芸術監督は、劇場にとって芸術性と採算性を両立できる唯一無二の存在で、同様の人を見つけるのは難しい。しかし、後継の吉田氏は蜷川氏の直弟子で、若手トップ俳優の兄貴的存在であり、出演者に有名メンバーを集め、彩の国シェイクスピア・シリーズの集客につなげることが見込めると期待している。また、ヨーロッパでは10年前から高齢者や障害者の舞台芸術への参加を積極的に進めており、彩の国さいたま芸術劇場でもこの点を新たな方向性として進めたい。若手人材の育成もより充実させ、芸術性と採算性の両立を図っていきたい。

## 金子(正)委員

- 1 彩の国さいたま芸術劇場は、地域社会での役割を果たしていくことが重要である。学校や町会、地元商店街との関わりはどうなっているか。
- 2 リニューアルオープンする埼玉会館について、近代建築の巨匠の一人であるル・コルビュジエの弟子であった前川國男氏設計による文化施設としての魅力を広く県民に伝

えてほしいが、県の考えはどうか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

- 1 私立学校に、当財団を支援していただくサポーターになっていただき、部活で稽古場を利用してもらうなど、学生を呼ぶ試みを積極的に進めている。高校演劇では毎年県大会決勝をさいたま芸術劇場で開催しており、教育機関との連携も進めている。
- 2 前川氏による建築は、建築界でも評価が高く、今回の改修工事でもその点を生かすようにした。会館内で学会を開催するなど、広報活動は3年以上前から積極的に実施している。

**田並委員**

芸術で収益性を求めにくいのは分かる。芸術は、過去にパトロンが存在で育ってきた面もある。だからと言って、赤字続きではいけない。熊谷市在住者は新幹線で都内まですぐ行けるので、都内の劇場に行ってしまう。吉田氏以外に、さいたま芸術劇場に来てもらう工夫が必要だと思うがどうか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

好評だった熊谷会館の歌舞伎公演は、閉館後も地元との共催で近隣の会館で上演している。また、さいたまゴールド・シアターの活躍が話題となり、県内での上演要望が寄せられており、県内出張公演を検討するなど、あらゆることを考えていきたい。

**浅井委員**

埼玉県芸術文化振興財団について、平成27年度決算で1億300万円の赤字となった点について、各会派が質問し、関心が高いことは分かっていたと思うので、しっかり受け止めてほしい。今後、事業実施に当たって、企業に支援を求めていく考えはあるか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

企業からの支援については、既にサポーター制度を設けている。現在、約110社からそれぞれ年間10万円の支援を受けている。今後、オリンピックの文化プログラム等があれば、それを絡めて支援をお願いしたいと考えている。

**荒川委員**

彩の国さいたま芸術劇場に近隣の人が行ったという話を余り聞かない。地域を活性化する事業も必要と思うがどうか。また、大衆的な公演を実施すれば、チケットは売り切れるが、芸術性をどう考えているか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

地域の人たちから縁遠いと言われていたため、蜷川芸術監督には、近隣のコンビニに買物に出掛けてもらったり、稽古場見学会を実施してもらったりした。また、JRと連携したイベントや落語、無料のオルガン・コンサートなどを実施している。芸術性の捉え方はいろいろあるが、20年以上前から芸術性の高い作品を提供するという一貫した考えの下、事業を実施している。

## 神尾委員

- 1 各公社について、評議員をどのように選任しているのか。
- 2 埼玉県芸術文化振興財団について、平成27年度決算が赤字で、平成28年度も蜷川芸術監督が逝去されるなど、経営が非常に厳しい状況である。このような中、審査対象3公社のうち、埼玉県芸術文化振興財団の理事長だけが非常勤役員となっているがきちんと対応できるのか。理事長の決意を聞かせてほしい。
- 3 役員報酬について、事業費と管理費に分けて計上している理由は何か。

### (福) 埼玉県社会福祉事業団本部事務局長

- 1 評議員は理事会の同意を経て、埼玉県知事の承認を得て就任していただいている。評議員は、県医師会や地域婦人会連合会、社会福祉士会などの関係団体のほか、学識経験者として弁護士会や大学教授、地域代表として市長会及び町村会、利用者代表として身体障害者福祉協会からの推薦に基づき選任している。
- 3 役職員の報酬は人件費で支出している。

### (公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長

- 1 評議員は現在11名いるが、芸術文化の有識者を選任している。評議員の中には、放送事業者や企業メセナ協議会、大学教授、文芸評論家などが含まれている。
- 2 2年前に兼務していた大学教授を辞めて、現在は非常勤であるが財団経営に専念している。
- 3 事業内容に応じて、事業費と管理費に区分している。

### (公財) いきいき埼玉理事長

- 1 評議員は14名おり、出えん者である銀行やマスコミからとして埼玉新聞社の方や、学識経験者などに入っている。
- 3 役員報酬については、管理部門と事業部門の仕事の比率に分けて計上している。例えば管理部門であれば人事や経理、事業部門であればいきがい大学やシルバー人材センター関係など、仕事の比率で計上している。

## 神尾委員

いきいき埼玉と埼玉県芸術文化振興財団の定款では、評議員の報酬が90万円以内と定められているが、どのような形で払われているのか。

### (公財) いきいき埼玉理事長

報酬として、日額13,800円を支給している。

### (公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長

1回につき、1人13,800円の定額となっている。

## 神尾委員

埼玉県芸術文化振興財団について、赤字決算や蜷川芸術監督の逝去を受け、緊急的に役員会等を開催したか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**  
開催していない。

#### **神尾委員**

来年度赤字だったらどうするのか。5か年の中期経営計画で経営目標を定めているが、平成27年度と環境は変わっている。県民のニーズに応じていくとともにすばらしい芸術作品を創造していく必要がある。財務においても収支をプラスマイナスゼロにする努力が必要だと思う。もう一度、理事長の意気込みを聞かせてほしい。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

公共劇場の原点に立ち返って、社会のニーズに応じていきたい。収益を確保するためには様々な支援が必要であるが、例えば、高齢者や障害者などを社会につなぎ止めていく、いわゆる社会包摂を社会が求めている。そういった方に劇場で参加型事業を提供し、参加してもらうことで、お互いが知り合ってつながっていくことが大事である。私もこれを目指した経営を行っていきたい。

#### **神尾委員**

埼玉県芸術文化振興財団の健全経営に向けた指導について、県民生活部長の決意を伺う。

#### **県民生活部長**

本日頂いた委員の皆様の意見をしっかり受け止め、芸術性と採算性の両立、経営改革の推進等について、しっかり指導、監督していく。

#### **菅原委員**

劇場法の趣旨に対応するため、各市町村の劇場でもいろいろと対応に努力している。経営目標にある「地域づくりの核」という県立劇場の役割も踏まえ、県内市町村の各劇場との連携について、どう考えているか。

**(公財) 埼玉県芸術文化振興財団理事長**

劇場法の主旨は、拠点劇場がサポートしていくことであり、さいたま芸術劇場が県内各地の施設を支援する立場にあると考えている。具体的な取組として、さいたま市文化振興事業団と連携しているほか、吉川市や蓮田市、川越市の劇団の立ち上げに協力した。アウトリーチの充実のため、プロデュース力を生かしていく。また、さいたまゴールド・シアターの普及も行っていく。